

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 5 月 14 日 (2009.5.14)

【公開番号】特開 2007-277313 (P2007-277313A)

【公開日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)

【年通号数】公開・登録公報 2007-041

【出願番号】特願 2006-102490 (P2006-102490)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

C 0 8 K 5/42 (2006.01)

H 0 1 B 1/24 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 3/04

C 0 8 K 5/42

H 0 1 B 1/24 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 30 日 (2009.3.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱可塑性樹脂 (A) 100 質量部に対して、グラファイト (B 1) 5 ~ 100 質量部、アルキルスルホン酸金属塩 (C) 1 ~ 15 質量部、を含有してなる導電性樹脂組成物。

【請求項 2】

熱可塑性樹脂 (A) 100 質量部に対して、グラファイト (B 1) 5 ~ 95 質量%と炭素繊維 (B 2) 95 ~ 5 質量%からなる炭素系導電性フィラー (B) 5 ~ 100 質量部、アルキルスルホン酸金属塩 (C) 1 ~ 15 質量部、を含有してなる導電性樹脂組成物。

【請求項 3】

前記 (C) 成分が、アルキル芳香族スルホン酸金属塩である、請求項 1 または 2 に記載の導電性樹脂組成物。

【請求項 4】

前記 (C) 成分のアルキル部分が、C 7 ~ C 16 成分である、請求項 3 に記載の導電性樹脂組成物。

【請求項 5】

前記 (C) 成分の芳香族部分がベンゼン環である、請求項 3 または 4 に記載の導電性樹脂組成物。

【請求項 6】

前記 (C) 成分の主成分が、ドデシルベンゼンスルホン酸金属塩である、請求項 3 ~ 5 のいずれかに記載の導電性樹脂組成物。

【請求項 7】

前記 (C) 成分の金属塩が、ナトリウム塩またはリチウム塩である、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の導電性樹脂組成物。

【請求項 8】

前記（Ａ）成分が、ポリフェニレンエーテル系樹脂である、請求項１～７のいずれかに記載の導電性樹脂組成物。

【請求項９】

前記（Ａ）、（Ｂ）、（Ｃ）成分の合計１００質量部に、更に、芳香族リン酸エステル系難燃剤（Ｄ）５～４０質量部を含有してなる、請求項１～８のいずれかに記載の導電性樹脂組成物。

【請求項１０】

前記（Ａ）、（Ｂ）、（Ｃ）成分の合計１００質量部に、更に、フォスファゼン系難燃剤（Ｅ）５～４０質量部を含有してなる、請求項１～８のいずれかに記載の導電性樹脂組成物。

【請求項１１】

請求項１～１０のいずれかに記載の導電性樹脂組成物によって得られた、成形体。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

即ち、本発明は、

- １．熱可塑性樹脂（Ａ）１００質量部に対して、グラファイト（Ｂ１）５～１００質量部、アルキルスルホン酸金属塩（Ｃ）１～１５質量部、を含有してなる導電性樹脂組成物、
- ２．熱可塑性樹脂（Ａ）１００質量部に対して、グラファイト（Ｂ１）５～９５質量％と炭素繊維（Ｂ２）９５～５質量％からなる炭素系導電性フィラー（Ｂ）５～１００質量部、アルキルスルホン酸金属塩（Ｃ）１～１５質量部、を含有してなる導電性樹脂組成物、
- ３．前記１または２のいずれかにおいて、前記（Ｃ）成分が、アルキル芳香族スルホン酸金属塩である、導電性樹脂組成物、
- ４．前記３において、前記（Ｃ）成分のアルキル部分が、Ｃ７～Ｃ１６成分である、導電性樹脂組成物、
- ５．前記３または４のいずれかにおいて、前記（Ｃ）成分の芳香族部分がベンゼン環である、導電性樹脂組成物、